


1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: IMAP PROGRESSIVE BINDING REAGENT 8000 TP
製品コード	: R7284/R7287/R7281
キット名	: IMAP IPP PROGRESSIVE BUFFER EXPLORER KIT IMAP FP PROGRESSIVE SCREENING EXPRESS KIT IMAP TR-FRET IPP EXPLORER IMAP TR-FRET SCREENING EXPRESS IMAP IPP PROGRESSIVE BUFFER BULK KIT IMAP IPP BULK PROGRESSIVE W/TWEEN IMAP TR-FRET IPP BULK WITH BSA IMAP TR-FRET IPP BULK W/TWEEN IMAP PROGRESSIVE BUFFER EXPLORER KIT IMAP TR-FRET EVALUATION KIT IMAP EVALUATION DEMO KIT SUBSTRATE FINDER KIT FOR SER/THR KINASES KIT 1 SUBSTRATE FINDER FOR TYROSINE KINASES KIT SUBSTRATE FINDER FOR SER/THR KINASES 2-KIT IMAP FP PDE EVALUATION KIT IMAP TR-FRET PDE EVALUATION KIT
キット品番	: R8124 / R8127 / R8157 / R8160 / R8125 / R8139 / R8158 / R8159 / R8155 / R8161 / R8166 / R8131 / R8134 / R8140 / R8175 / R8176
<u>推奨用途及び使用上制限</u>	
製品の使用	: 研究開発用途専用。
適応エリア	: 業務用。
製造業者	: MOLECULAR DEVICES, LLC 3860 N First Street San Jose, CA 95134 USA
本SDS担当者の電子メールアドレス	: msdsinquiry@moldev.com
緊急連絡電話番号(受付時間)	: CHEMTREC (24 時間): 1-800-424-9300 (USA/Canada), +1 703-527-3887 (外部 USA/Canada)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	:  H302 急性毒性(経口) - 区分4 H331 急性毒性(吸入した場合) - 区分3 H314 皮膚腐食性 - 区分1 H318 眼に対する重篤な損傷 - 区分1 H334 呼吸器感作性 - 区分1 H317 皮膚感作性 - 区分1 H371 特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2 H373 特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2 H401 水生環境有害性(急性) - 区分2 H412 水生環境有害性(長期間) - 区分3
	未知の急性経口毒性を有する原料を含有する混合物の割合: 1% 未知の急性吸入毒性を有する原料を含有する混合物の割合: 10.6% 水生環境に対する未知の危険有害性成分から成る混合物のパーセンテージ: 10.6%

GHS ラベル要素

2. 危険有害性の要約

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H302 - 飲み込むと有害。
 H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
 H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H331 - 吸入すると有毒。
 H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
 H371 - 臓器の障害のおそれ。(呼吸器系)
 H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。(呼吸器系、歯)
 H401 - 水生生物に毒性。
 H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

概要

: 該当しない

安全対策

: P280 - 保護手袋、衣類および保護眼鏡又は保護面を着用すること。
 P284 - 呼吸用保護具を着用すること。
 P273 - 環境への放出を避けること。
 P260 - 蒸気を吸入しないこと。
 P270 - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P264 - 取扱い後はよく洗うこと。

応急措置

: P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 P304 + P340, P310 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師に連絡すること。
 P342 + P311 - 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
 P301 + P310, P330, P331 - 飲み込んだ場合：ただちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 P303 + P361 + P353, P310 - 皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。ただちに医師に連絡すること。
 P363 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 P302 + P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
 P333 + P313 - 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察または手当を受けること。
 P305 + P351 + P338, P310 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

保管

: 該当しない

廃棄

: P501 - 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

補足的なラベル要素

: 飲み込まないこと。取扱い後はよく洗うこと。

他の有害性

: 消化管に炎症を引き起こす。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分

: 混合物

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	%	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
塩化ガリウム(III)	≤10	13450-90-3	データなし	1-(3)-332
塩化水素	≤8.5	7647-01-0	1-215	(1)-215
α-ドデシル-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)	2.0	9002-92-0	7-97	(7)-97
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	≤0.10	26172-55-4	9-378	9-378
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	<0.10	2682-20-4	5-5235	(5)-5235

4. 応急措置

- 吸入した場合** : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。
- 皮膚に付着した場合** : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
- 眼に入った場合** : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。
- 飲み込んだ場合** : 直ちに医師の診断を受ける。医師に連絡する。水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

最も重要な徴候及び症状

予想される急性健康影響

- 吸入した場合** : 吸入すると有毒。吸入すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。
- 皮膚に付着した場合** : 湿度のやけどを引き起こす。皮膚に接触すると、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 眼に入った場合** : 重篤な眼の損傷
- 飲み込んだ場合** : 飲み込むと有害。消化管に対して腐食性。やけどを引き起こす。飲み込むと、単回暴露で臓器に障害を引き起こすおそれがある。

過剰にばく露した場合の徴候症状

- 吸入した場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
喘鳴および呼吸困難
喘息
- 皮膚に付着した場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み及び刺激
充血
水ぶくれになることがある

4. 応急措置

- 眼に入った場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み
流涙
充血
- 飲み込んだ場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胃痛
- 応急処置をする者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項** : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

- 消火剤** : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤** : ウォータージェットを使用してはならない。
- 特有の危険有害性** : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に毒性を有する。本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
- 有害な熱分解生成物** : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
ハロゲン化合物
金属酸化物
- 特有の消火方法** : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火を行う者の保護** : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

- 非緊急時対応要員について** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気やミストを呼吸しない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション 8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

- : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量に流出した場合** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

6. 漏出時の措置

大量に流出した場合

: 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。放出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。注意: 接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

: 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害あるいは喘息、アレルギー、慢性または頻発呼吸器疾患の病歴を持つ者を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。環境への放出を避けること。換気が十分な場所でのみ使用する。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器を再利用してはならない。

衛生対策

: 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件

: 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 換気が十分な場所でのみ使用する。工程の隔離、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が暴露される空気中の汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。

曝露限界

化学名又は一般名	曝露限界値
塩化水素	日本産業衛生学会(日本、5/2019)。 OEL-C: 2 ppm OEL-C: 3 mg/m ³

保護具

呼吸用保護具

: 危険性と曝露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼の保護具

: リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への曝露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 化学物質用飛沫防止ゴーグルおよび/またはフェースシールド 吸入危険有害性が存在する場合には、代わりにフルフェース呼吸保護具が必要な場合もある。

皮膚及び身体保護具

: 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: 液体
色	: 乳白色
臭い	: データなし
臭いのしきい値	: データなし
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: 該当しない
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(相対密度)	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
その他のデータ	
物理化学的コメント	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。 通常の保管および使用条件の下では、有害な重合は起こらない。
避けるべき条件	: 特にデータは無い。
混触危険物質	: 次の物質と反応性あるいは危険配合性: 酸化性物質。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
塩化ガリウム(III) α-ドデシル-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)	LD50 経口	ラット	4700 mg/kg	-
	LD50 経皮	ラット - オス、メス	>2000 mg/kg	-
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	LD50 経口	ラット	1 g/kg	-
	LC50 吸入した場合 微塵および噴霧	ラット - オス、メス	0.11 mg/l	4 時間
	LD50 経皮	ラット - オス、メス	242 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット - オス、メス	285.5 mg/kg	-

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (ガス) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (ダストおよびミスト) (mg/l)
IMAP PROGRESSIVE BINDING REAGENT 8000 TP	1123	49156.3	7360.3	N/A	0.52
三塩化ガリウム(III)	4700	N/A	N/A	N/A	N/A
塩化水素	100	N/A	700	N/A	0.05
α-ドデシル-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)	1000	1100	N/A	N/A	1.5
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	100	300	N/A	N/A	N/A
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	285.5	242	N/A	N/A	0.11

結論/要約 : データなし

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
塩化水素 α-ドデシル-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	0.5 分 5 milligrams	-
	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	24 時間 750 Micrograms	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 milligrams	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 milligrams	-

呼吸器感作/皮膚感作

データなし

生殖細胞変異原性 (変異原性)

結論/要約 : データなし

発がん性

結論/要約 : データなし

生殖毒性

結論/要約 : データなし

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
塩化水素 α-ドデシル-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン) 5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	区分1	-	呼吸器系 麻酔作用 気道刺激性
	区分3	-	
	区分3	-	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
塩化水素	区分1	-	呼吸器系、歯

11. 有害性情報

吸引性呼吸器有害性

データなし

可能性のある暴露経路についての情報 : 予想される侵入経路: 経口、経皮、吸入した場合.

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
塩化水素	急性 LC50 240000 µg/l 海水	甲殻類 - <i>Garcinus maenas</i> - 成体	48 時間
	急性 LC50 282 ppm 真水	魚類 - <i>Gambusia affinis</i> - 成体	96 時間
α-ドデシル-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)	急性 LC50 6460 µg/l 真水	ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i>	48 時間
	急性 LC50 1500 µg/l 真水	魚類 - <i>Salmo salar</i> - パー(幼鮭)	96 時間
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	急性 EC50 0.021 ppm 海水	藻類 - <i>Skeletonema costatum</i>	72 時間
	急性 EC50 0.062 ppm 真水	藻類 - <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>	4 日
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	急性 EC50 13 ppm 真水	甲殻類 - <i>Ceriodaphnia dubia</i>	48 時間
	急性 EC50 0.18 ppm 真水	ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i>	48 時間
	急性 LC50 0.19 ppm 真水	魚類 - <i>Oncorhynchus mykiss</i>	96 時間
	慢性 NOEC 0.1 ppm 真水	ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i>	21 日
	慢性 NOEC 0.02 ppm	魚類 - <i>Pimephales promelas</i>	36 日
	急性 EC50 0.18 ppm 真水	ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i>	48 時間
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	急性 LC50 0.07 ppm 真水	魚類 - <i>Oncorhynchus mykiss</i>	96 時間
	慢性 NOEC 0.044 mg/l 真水	ミジンコ類 - <i>Daphnia magna</i>	21 日
	慢性 NOEC 2.38 mg/l 真水	魚類 - <i>Pimephales promelas</i>	98 日

結論/要約 : データなし

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	OECD 301D Ready Biodegradability - Closed Bottle Test	0% - 容易ではない - 28 日	-	活性汚泥

結論/要約 : データなし

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	-	-	容易
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	-	-	容易ではない

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	-0.71	-	低
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	0.119	-	低

12. 環境影響情報

土壌中の移動性 : データなし




オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	UN3264	UN3264	UN3264
品名	CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S. (三塩化ガリウム(III))	CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, INORGANIC, N.O.S. (gallium trichloride)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (gallium trichloride)
国連分類 クラス	8 	8 	8 
容器等級	III	III	III
環境有害性	該当せず。	No.	No.

追加情報

UN : **特別条項** 223, 274

IMDG : **Emergency schedules** F-A, S-B
Special provisions 223, 274

IATA : **Quantity limitation** Passenger and Cargo Aircraft: 5 L. Packaging instructions: 852. Cargo Aircraft Only: 60 L. Packaging instructions: 856. Limited Quantities – Passenger Aircraft: 1 L. Packaging instructions: Y841.
Special provisions A3, A803

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

カテゴリ	物質名/種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類	以下を含む物質: 第三石油類 以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性)	III III	火気厳禁 火気厳禁	2000 L 4000 L

安衛法

特定化学物質障害予防規則

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
塩化水素	≤8.5	第三類物質	3

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
塩化水素; 塩酸	≤8.5	該当	98

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
塩化水素; 塩酸	≤8.5	該当	98

腐食性液体 : 該当

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
α-アルキル(C=12~15)-ω-ヒドロキシポリ(オキシエチレン) (数平均分子量が1,000未満のものに限る。)	≤2.0	優先評価化学物質	189

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
ポリ(オキシエチレン)ドデシルエーテル	2.0	第一種	407

道路法 : 該当

日本インベントリー : 日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質): 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2020/12/11

前作成日 : 2018/03/05

バージョン : 3

作成者 : Sphera Solutions

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。 ("Marpol" = 海洋汚染)

16. その他の情報

N/A = データなし
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
急性毒性(経口) - 区分4	算出方法
急性毒性(吸入した場合) - 区分3	算出方法
皮膚腐食性 - 区分1	算出方法
眼に対する重篤な損傷 - 区分1	算出方法
呼吸器感作性 - 区分1	算出方法
皮膚感作性 - 区分1	算出方法
特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分2	算出方法
特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2	算出方法
水生環境有害性(急性) - 区分2	算出方法
水生環境有害性(長期間) - 区分3	算出方法

参照 : JIS Z 7253:2012

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。